

京都大学フィールド科学教育研究センター・周南市連携講座が開催されました

H30年6月16日（土）

京都大学フィールド科学教育研究センター徳山試験地は、緑豊かな施設環境を活かし、平成23年度より「京都大学・周南市連携講座（森里海連環学）」を開催し、環境を総合的に考える人材を育成することで、周南市に大きく地域貢献されています。

今回の講座では、京都大学フィールド科学教育研究センターの吉岡崇仁教授による講義「水の中のはなし」と、徳山試験地の見学が行われました。19名の参加者の皆さんは講義を熱心に聴講され、積極的に質問をされる場面もありました。また、試験地内の水辺や演習林の檜皮採取後の檜などを観察することができました。



まず、講義が行われました。

海の深層水の循環、湖の季節による温度変化の中の食物連鎖、魚の鱗には温暖化の記録が残されている等といった水全般の興味深いテーマについて、分かりやすく解説していただきました。

次に、試験地見学を行いました。（水辺や檜皮実験林の様子など）



大変有意義な時間になりました！